

No.2	団体名	新加納防犯パトロール隊		
	活動開始時期	平成27年2月	構成員数 (R7.4.1 現在)	40 人
団体の活動母体		新加納町第1～第5、日吉町、浜見町第1～第2自治会		
活動の範囲(地域)		区域内の住民	活動頻度	・月4回 (4部隊に分け、最低2人ペアで1時間程度巡回)
活動内容		・夜間パトロール ・犯罪、事故、災害の被害を未然に防止する活動		

●実施内容

7月15日(火)19:00-20:00、新加納防犯パトロール隊メンバー8人による防犯パトロール活動が行われました。19:00に新加納ふれあいセンターに集合し、点呼をとります。その後、東・西・南・北に分かれてのパトロールが始まりました。各班毎に無線と誘導棒を持ち、ごみ拾いをしながらパトロールします。代表の伊藤さんによると「危ないこと、難しいことはしない」というのが続けるポイントだそうです。無線で今どこにいるのか、異常がないか連絡を取り合いながら地区内を巡回します。

隊員の片岡さんは「運転免許を返納して、以前に比べて出かけることも少なくなりましたが、防犯パトロールをすることで外に出るきっかけができています。健康のためにもなり、続けることで顔の見える関係で話をするができる」と話されていました。最近入隊し、今回2回目のパトロールだという大橋さんと今尾さんは、近所の隊員の誘いにより始めたそうです。構成員の高齢化が進む一方で、誘い合って少しずつ活動に参加される方も増えています。

パトロール後は、皆集まっての終礼を行います。各班ごとに何人くらいに挨拶による声掛けをしたか、目立った変化がないかを報告し合いました。活動を始めたころは見知らぬ人に挨拶をすることがためらわれた隊員も今ではしっかり挨拶ができ、逆に「お疲れ様！」と返答がくるようになりました。パトロールを通して、地域の異変にも気付くことができるきっかけにもなっています。

7月22日(火)15:00-16:00 代表の伊藤さんに新加納ふれあいセンターで活動についてのお話を伺いました。会の発足のきっかけは強盗事件をはじめいくつかの犯罪が新加納地区で起こったことでした。近所の有志で何とかならないかと話し合い、当時あった社会福祉協議会の助成金を使って防寒着や無線などの必要な防犯グッズをそろえて活動を始めました。市内にイオンができ、賑やかになる一方で地域の中にある新加納駅を使う人も増えました。実際に痴漢などに追われた女性が、防犯隊員に保護されたという事例もあります。「定年退職した方を中心に新しいメンバーが増えてくれれば」と次の世代へのバトンを引継ぐことも見据えながら、これからも地域の安全・安心を守るため、地域住民との連携を図りながら防犯活動を続けていきます。



<インタビューを終えた感想>

新加納防犯パトロール隊は、東西南北の4つの地区に分かれて、パトロールを行っています。自助的な参加を促進しつつ、話す場として仲間と地域の行事や近況の情報交換をして、皆で町内を守っていることが分かりました。また、代表の伊藤さんの「まずは自分たちが勉強する」という言葉が印象的でした。防災推進委員として自ら登録したり、積極的に防災・防犯に関わる資格を取得したり、自分たちがまず姿を示すことで隊員たちを引っ張っていく姿がとてもカッコいいなと感じました。

令和7年度インターンシップ Tさん

お話を聞いて、新加納防犯パトロール隊は人間味あふれる団体だと思いました。代表の伊藤さんは、とても責任感が強い方で「本部である私たちが知識をつけなければ」と防災士の資格を得たそうです。また、なるべく隊員に金銭的負担をかけないように社協や防犯協会そして地元企業からの助成金等を活用して無線機、ユニフォーム、誘導灯などの備品をそろえてきました。地域との繋がりが希薄になりがちな定年退職した地域の方も防犯活動を通じて寄り合うことで話をする機会となっているとお聞きし、とてもあたたかい団体であると思いました。

令和7年度インターンシップ Fさん

